



ネイチャーセンターだより

2018年4月号

新・いきもの図鑑



オオジシギ (シギ科)

アイヌ語名:チピヤク cipi yak

4月中旬にオーストラリアなどの南半球から、繁殖のために北海道に渡ってきます。

4～6月の早朝や夕暮れ時に「ズビヤーク・ズビヤーク」と鳴きながら飛んだり、オスがメスにアピールするときに上空から急降下しながら「ガガガガ」と大きな羽音を立てたりするので、「カミナリシギ」という方言名もあります。

根室では、ネイチャーセンターの周辺の草原や、歯舞の北方原生花園、根室駅の裏の草原でも繁殖していますが、オオジシギ全体の数は減っていて、生息地を安定して維持できるように、日本野鳥の会が中心となって、調査を進めています。

魅力あるオオジシギの生態について皆さんに知っていただきたく、4/14 (土) に講演会を開きます。
くわしくは裏面をご覧ください！

【上旬】

春の先がけの花々、キタミフクジュソウやアキタブキ (フキノトウ)、ミズバショウ、ザゼンソウ、キバナノアマナ、エゾエンゴサクが花開きます。草原ではヒバリがさかんにさえずり、森ではハシブトガラ、ヒガラ、ミソサザイ、ゴジュウカラのさえずりやアカゲラ、オオアカゲラのドラミングが始まります。



自然学習林ではキタミフクジュソウが咲いています

4月の見どころ



旅の途中 / ミヤコドリ



根室で繁殖 / ノビタキ

【下旬】

本州以南で冬を越した鳥たちが根室に戻ってきます。森や草原にはノビタキ・ベニマシコ・ウグイス・アオジ・オオジュリンなど。水辺にはアオサギ、そして旅鳥のミヤコドリ・タヒバリなど。タンチョウは湿原で繁殖の準備を始めます。

見どころMAP



風蓮湖で休憩したオオハクチョウやカモの仲間が繁殖地へ旅立ちます。下旬にはほとんど見られなくなります。

キタミフクジュソウやミズバショウ、キバナノアマナ、エゾエンゴサクなどが次々に開花します。



アカエゾマツコースの終点の第三砂丘の森では、針葉樹が好きなヒガラやキクイタダキ、オオアカゲラなどが見られるでしょう。



ヒバリやオオジュリンなど小鳥たちが、繁殖のため草原に帰ってきます。明るい声でさえずります。

ミヤコドリが60羽前後渡ってきます。干潮の3～4時間前に浅瀬で二枚貝を探します。

タンチョウ夫婦が湿原で繁殖します。エサを探して歩く姿が見られます。

自然学習林の樹洞や巣箱では、シジュウカラやハシブトガラが巣材運びに大忙しです。

- 観察路 (ヒバリコース1.2km、約25分)
- 観察路 (ハマナスコース1.4km、約30分)
- 観察路 (キタキツネコース0.8km、約20分)
- 観察路 (アカエゾマツコース0.5km、約15分)

- 作業路 (春国岱上は車両進入禁止)
- 観察路 (小鳥の小道1.4km、約30分)
-  根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター (入館無料)
-  東梅野鳥観察舎 (東梅ハイド)

春の訪れ

トピックス

■ヒバリ

夏鳥第一号です。3月27日に春国岱の第一砂丘の海岸に戻ってきたのを確認。少なくとも4羽はいて、3羽はさえずっていました。



■キタミフクジュソウ

ネイチャーセンターの観察窓の前で3月17日につぼみを、24日には初めて開花を確認しました。フクジュソウの仲間で1本の茎に花を1つだけつけます。北海道と朝鮮半島からロシア沿岸州に分布します。(フクジュソウは北海道、本州、四国)

■ヒシクイ

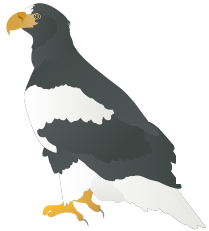
風蓮湖の一部でねぐらをとっていて、3月24～26日に行った調査では、約4990羽を確認しました。春国岱周辺で見られる機会はほとんどありませんが、明郷や檜昔の牧草地に群で下りているときがあります。



オオワシ・オジロワシの越冬数調査結果

風蓮湖と温根沼に飛来しているオオワシ・オジロワシのカウント調査を1月～2月に4回実施しました。結果は下の表のとおりです。

調査日	オオワシ	オジロワシ	不明	合計
1/21・24・25	299	155	22	476
2/9	423	179	51	653
2/16	643	188	23	854
2/23	296	199	36	531



オオワシ



オジロワシ

最大飛来数は例年に比べてやや下回ったものの、全体ではほぼ平年並みに飛来していることがわかりました。

また、シーズンにおけるピークは、例年よりもやや遅いという結果でした。

- ・なお、2000年度以降、2017年度までの18年間における各年度の最大記録数の平均は、オオワシ 727.8羽（最大1,001羽～最小363羽）、オジロワシ 190.9羽（最大380羽～最小92羽）、2種の識別ができなかったものも含めてワシ類総計の平均が 946.6羽（最大1,256羽～最小543羽）でした。

春国岱クイズ



ウミアイサのオスとメス

前浜の水面で見られるカモの仲間、カワアイサやウミアイサ。

海にもぐったり、顔を水につけてバタ足をしているみたいに泳いで、食べものをさがしている姿をよく目にします。

さてこの「アイサ」という名まえは、どんな由来があるのでしょうか？

- ① おじぎをするようなしぐさをするので、「あいさつ」から変化した
- ② 秋が去るとやってくるので、「あきさ」から変化した
- ③ 沖縄の言葉で、「びっくりした」という意味の「あきさみよー」から変化した

イベント情報！

観察会などへの参加申込み、お問い合わせは春国岱ネイチャーセンターへ
電話（0153-25-3047）もしくは直接のご連絡をお願いいたします。連絡先は下記に。



4/14（土） 9：30-11：30 特別講演会 「オオジシギの生態」

（主催 日本野鳥の会）

対象：小学生高学年～大人
定員：40名 先着要予約 受付：～13日（金）
持ち物：筆記用具 参加費は無料です
講師：浦達也（日本野鳥の会 自然保護室 主任 研究員）
4月になるとオーストラリアから渡って来て根室の草原で繁殖するオオジシギについて、日本野鳥の会の最前線の研究でわかったことをわかりやすくご説明します

4/28（土） 9：30-12：00 春のミヤコドリと 干潟ウォッチング ※雨天延期 4/29

対象：バードウォッチングに興味のある小学生～大人 ※初心者歓迎
定員：20名 先着要予約 受付：～26日（木）
持ち物：100円（保険代）長靴・筆記用具・
お持ちのかたは双眼鏡



5/27（日） 7：00-10：00 春国岱バードウォッチング （アカエゾマツコース） ※雨天延期 6/3

対象：バードウォッチングに興味のある小学生～大人 ※初心者歓迎
定員：20名 先着要予約 受付：4/28（土）～5/24（木）
持ち物：100円（保険代）長靴・筆記用具・お持ちのかたは双眼鏡

※双眼鏡や図鑑の貸出しはあります。この春からバードウォッチングを始める方にお勧めです。
お気軽にご参加ください。

5/27（日） 谷口高司さんの タマゴ式鳥絵塾

多くの野鳥図鑑のイラストを手がけている谷口さんから、直接鳥の描き方を教えていただく“タマゴ式鳥絵塾”を開きます。小学生コース・大人コースと2回開きます。
時間など詳細は次号でお知らせします！お楽しみに！

GW特別企画！ 4/28～30、5/3～6の7日間（10：00～16：00）

ことりのこみちクイズラリーを今年も開催。ネイチャーセンターの隣の林“ことりのこみちコース”を歩いてクイズに参加！春探しを楽しもう！予約不要！どなたでも参加してください。

根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター（入館無料）

〒086-0074 北海道根室市東梅103番地

TEL. 0153-25-3047 FAX. 0153-25-8570

Eメール. nemu_nc@marimo.or.jp

URL. http://www.marimo.or.jp/~nemu_nc/workn/index.html

◆4月休館日：4.11.18.25日

◆5月休館日：1.2.7.8.9.10.16.23.30日

開館時間：9：00～17：00

◆団体でご利用の方へ

自然観察や学習、スライドの上映などのプログラムをご利用いただけます。

クイズのこたえ ②

（要事前申込）

出典：大橋弘一著「鳥の名前」東京書籍株式会社刊（2003年出版）



ラムサール条約湿地

風蓮湖・春国岱

2005年11月登録